

福祉文教常任委員会開催状況

1. 日 時 平成27年3月16日（月） 平成27年3月17日（火）
午前9時59分開会 午前9時30分開会
午後0時33分休憩 午後0時12分閉会
午後1時29分再開
午後3時37分閉会
2. 場 所 第2委員会室
3. 出席委員 二木 攻委員長、井田秀喜副委員長、宮西健吉委員、表靖二委員、杉林憲治委員
4. 欠席委員 なし
5. 委員会の議題
 - (1) 議案審議 15件
議案第1号 平成27年度一般会計予算中関係部分
議案第2号 平成27年度小松市国民健康保険事業特別会計予算
議案第5号 平成27年度小松市介護保険事業特別会計予算
議案第8号 平成27年度小松市後期高齢者医療特別会計予算
議案第11号 平成27年度国民健康保険小松市民病院事業会計予算
議案第12号 平成26年度小松市一般会計補正予算（第5号）中関係部分
議案第13号 平成26年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
議案第16号 平成26年度小松市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
議案第19号 平成26年度小松市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案第21号 平成26年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算（第3号）
議案第27号 小松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
議案第30号 小松市医療費助成条例の一部を改正する条例について
議案第31号 小松市介護保険条例の一部を改正する条例について
議案第32号 小松市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について
議案第33号 小松市指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について
 - (2) 閉会中の継続調査（審査）の申し出について
6. 委員長報告の要旨

福祉文教常任委員会における審査の経過と結果について御報告申し上げます。当委員会に付託されまし

た案件は、議案第1号 平成27年度小松市一般会計予算中、当委員会所管分を初めとする議案15件であります。

これらの各案件につきまして、活発な質疑応答を行い、終始慎重なる審査を行いました結果、全会一致をもって、いずれも原案どおり可決すべきものと決した次第であります。

以下、審査の過程において、議案並びに所管事項に関します、様々な意見や要望が出されましたので、その一端について御報告申し上げます。

はじめに、公立保育所の統廃合についてであります。

現在、松東地区の金野保育所・瀬領保育所について、統合に係る協議が進められているとのことであります。

両保育所の統合については、元々平成28年から平成32年の「小松市保育所統廃合・民営化計画」における後期計画の中で進められることとしていたものの、児童数の減少や建物の老朽化などにより、当初の計画を前倒しし、平成25年7月には統合事業についての地元説明会を実施し、現在は、地域代表者・保護者会役員等をメンバーとした「金野・瀬領保育所統合事業検討委員会」の中で地域要望の集約や、統合保育所の理念・構想のとりまとめなどの具体的な協議を行っているとのことであります。

実際の統合時期については、平成28年からの後期計画の期間内に照準を合わせているとのことでありますが、新園舎の立地については、地域の意見を最大限尊重した中で決定できるよう特段の配慮を求めたものであります。

つぎに、環境にやさしい教育バス購入費についてであります。

平常時は小中学校の校外学習活動での利用や環境教育の教材として、災害時には避難所等への電力供給バスとして活用すること等を目的として、世界初の次世代低公害車「プラグインハイブリッドバス」を購入し、あわせて市役所内に充電設備を設置するものであります。なお、本格的な活用については平成28年1月以降からになるとの事でありました。

今回導入するプラグインハイブリッドバスは、単なる乗り物としてだけではなく、教育・文化など様々な観点から幅広い活用を図るとともに、「乗りもののまち」のシンボルとして小松市のイメージ向上にもつなげていくとのことであり、導入後においては、市民のために最大限活用していくよう求めたものであります。

つぎに、小中学校の運動場芝生化についてであります。

平成24年度から順次進めている小中学校の運動場芝生化については、芝生の維持管理の大変さから、これまでのところ、市内の35小中学校のうち7校にとどまっているとのことであります。

今後、更なる芝生化を推進していくためにも、既に整備した学校から芝刈りの回数や管理費用などの維持管理に関するデータを集約した上で、より管理がしやすい芝への変更も含めて、今一度検証を行うよう求めたものであります。

つぎに、未来の教育検討費についてであります。

近年の教育に対する要求の高度化や、不登校・いじめなどの学校現場における負の問題に適切に対応していくため、学校の現状や課題を分析し、指導方法の開発や適切かつ必要な教育施策の企画・推進を行うとともに、教育施策検討会議の開催や施策に関する研究・研修を専門的に行うものであります。また、本事業の推進のため、課の新設も視野に入れているとのことでありました。

今回の取り組みが小松市の教育力の向上につながるよう期待するものであります。

最後に、理科大好き青少年の育成に向けてのアクションプランについてであります。

小松市では、「科学と交流のまち」の実現に向け、「これからの理科教育を考える会」を創設し、平成25年12月に「理科大好き青少年の育成」に向けた提言を発表しました。今回、この提言の実現に向け、「良識ある科学的判断のできる市民」を育て、ひいては「地球を大切に作る心」を養うことを目的とし、サイエンスヒルズこまつの積極的活用など6つの提言を盛り込んだアクションプランを策定したものであります。

今回のアクションプランが「ものづくりのまち小松」を担う人材の育成につながるよう期待するものであります。

以上、本委員会の報告といたします。